

### 3 町の自ぜん

#### (1) 土地のようす

河東町は、<sup>あいづぼんちちゅうおうぶ</sup>会津盆地中央部の東がわにあり、<sup>とうざい ほそなが</sup>東西に細長い形をしています。西の方が<sup>ひく</sup>低く、東の方にいくにしたがって高くなるというどくちょうがあります。町内でもっとも高いところは、東がわのきゅうりょう地たいで<sup>ひょうこう</sup>標高524メートルです。またもっとも低いところは、西がわの水田地たいで180メートルです。

河東町の大きさは、<sup>とうざい</sup>東西にやく12キロメートル、<sup>なんぼく</sup>南北にやく8キロメートルで、<sup>めん</sup>面せきは、やく39.56平方キロメートルです。

町内には4つの大きな川が流れています。東と北には<sup>なが</sup>日橋川が流れており、<sup>いなわしろ</sup>猪苗代町や<sup>しおかわ</sup>塩川町とのさかいになっています。町のほぼ中央部には、<sup>だいく</sup>大工川が流れています。大工川の南には、<sup>かねやま</sup>金山川が流れています。また、ほんのわずかですが、西の端には、<sup>はし</sup>瀬川も流れています。

河東町は、南が<sup>あいづわかまつ</sup>会津若松市、東が猪苗代町、北が<sup>ぼんだい</sup>塩川町と磐梯町、西が<sup>ゆがわ</sup>湯川村ととなり合っています。



▲ <sup>ふどう</sup>大工川と<sup>ごうりゅう</sup>不動川の合流点

大工川と不動川が合流すると、瀬川と名前が変わります。



▲ <sup>せいぶ</sup>河東町西部の土地のようす

東の方にいくにしたがって高くなっていくことがわかります。